

2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博) について

公益社団法人
2025年日本国際博覧会協会

国際博覧会（万博）とは

- 国際博覧会とは、「公衆の教育を主たる目的とする催しであって、文明の必要とするものに応ずるために人類が利用することのできる手段又は人類の活動の一若しくは二以上の部門において達成された進歩若しくはそれらの部門における将来の展望を示すもの」のうち、「二以上の国が参加するもの」。

<国際博覧会条約より>

- 1994年に行われたBIE（博覧会国際事務局）において「人類の知識の向上および相互理解」、「国際協力への貢献」を「本質的に目的」とする決議がなされ、以降の博覧会に反映されていくことに。

万博の目的

《20世紀》

国威発揚や殖産興業
(産業見本市的) が中心

1994年

総
会
決
議
B
I
E

《21世紀》

**地球的課題と人類社会の
持続的な発展**がテーマの中心に

万博の種類

登録博覧会

【大規模博覧会】

- ・ 5年に1回開催
- ・ 期間は6か月以内
- ・ 面積要件なし



<国内開催実績> 旧一般博

- ・ 大阪万博 (1970)
- ・ 愛知万博 (2005)



認定博覧会

【小規模博覧会】

- ・ 2回の登録博の間に1回開催
- ・ 期間は3か月以内
- ・ 25ha以内

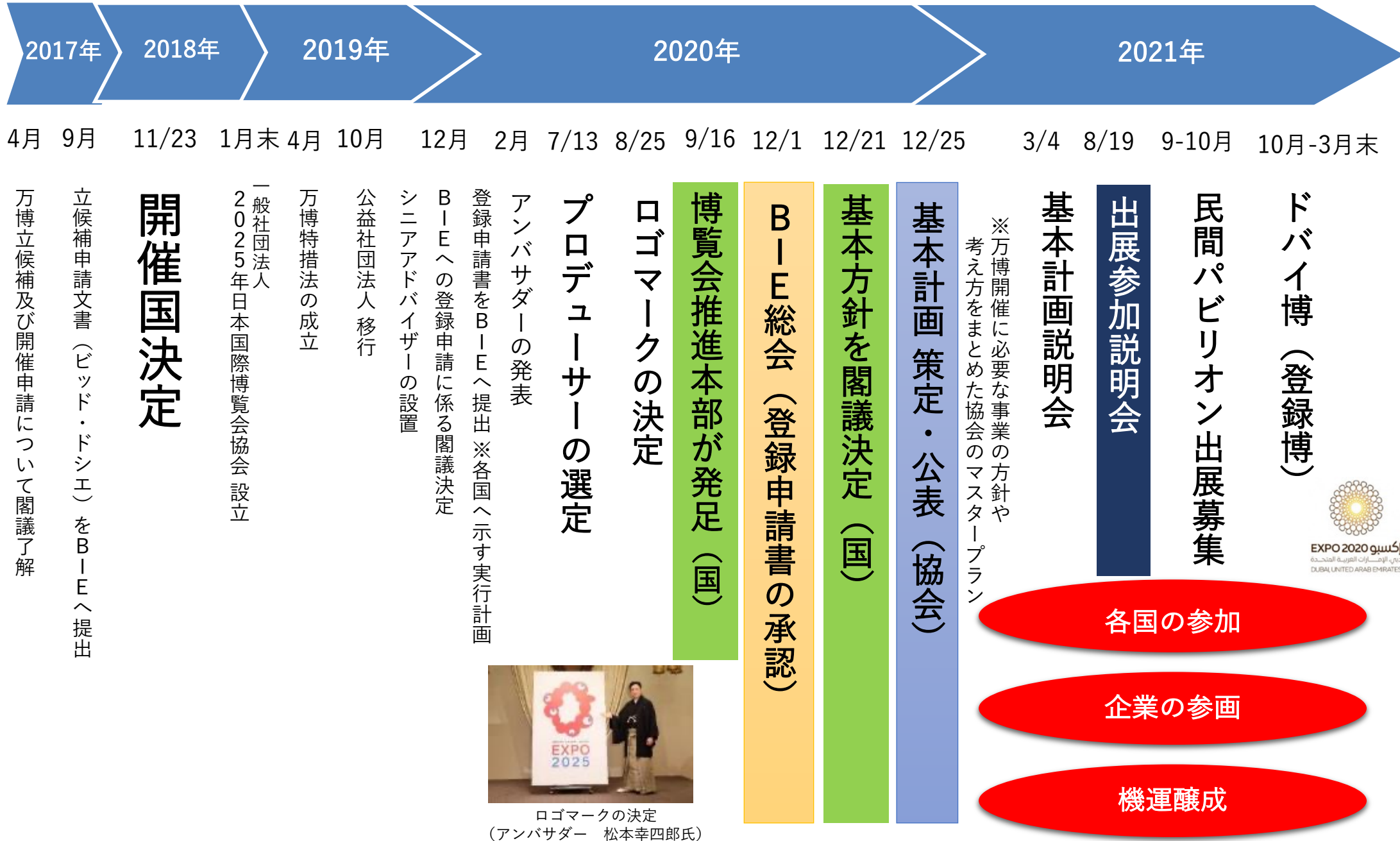


<国内開催実績> 旧特別博

- ・ 沖縄国際海洋博覧会(1975)
- ・ 国際科学技術博覧会 (1985)
- ・ 国際花と緑の博覧会 (1990)



万博の進捗とスケジュール ～これまでの取り組み～



- 大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を体現する様々な参加形態や事業、会場のデザインを含む会場計画、運営計画、資金計画等をまとめた協会のマスタープラン「基本計画」を2020年12月25日策定・公表
- 基本計画に基づき、参加国、国際機関への招請活動や企業・団体・自治体・市民団体等の参加と共創を促進するとともに、各事業の実施計画の策定や具体的な取り組みを推進

開催概要

名 称	2025年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちに力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ）
コンセプト	People's Living Lab（未来社会の実験場）
会 場	夢洲(ゆめしま)（大阪市此花区）
開催期間	2025年4月13日～10月13日
想定来場者数	2,820万人



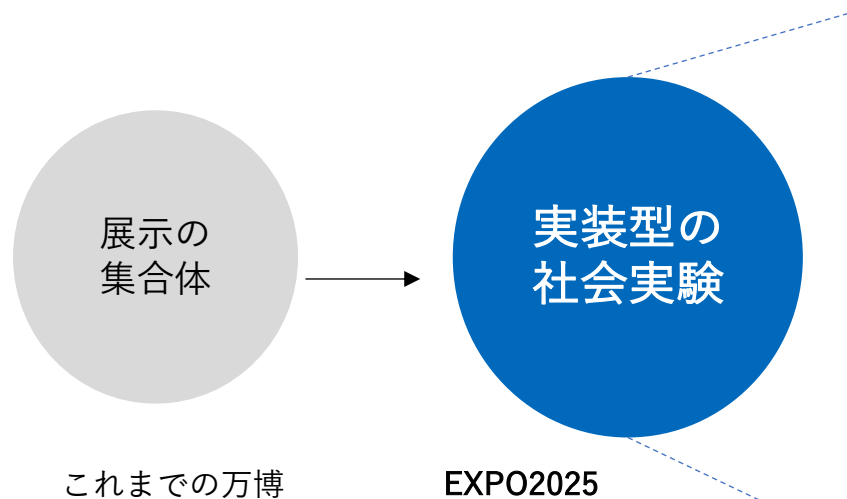
会場デザイン ～世界とつながる海と空に囲まれた万博～

- 四方を海に囲まれた会場ロケーションを活かし、世界とつながる「海」と「空」に囲まれた万博としての会場デザイン及び企画などを実施。
- 誘致の時から「非中心・離散」の理念によって多様性を鼓舞し、そこに「つながり」を重ね合わせた「多様でありながら、ひとつ」をデザイン。



「People's Living Lab = 未来社会の実験場」の意義

- 本万博は、「People's Living Lab = 未来社会の実験場」のコンセプトのもと、「展示の集合体」ではなく、「実装型の社会実験」を目指す。
- その実現にあたっては、多彩な企業や大学、公的機関等、あらゆるプレイヤーが連携し、それらの活動を協会や政府がサポートすることで、会場や展示、運営等を含む「Society 5.0実現型会場」を共創的に創り上げる。



Society 5.0実現型会場のイメージ

会場デザインプロデューサー

藤本 壮介 (建築家)



©Dav d Vintiner

会場運営プロデューサー

石川 勝 (プランナー、プロデューサー)



テーマ事業プロデューサー

各界のトップランナー8名が自ら創り上げるテーマ事業推進

福岡 伸一

(生物学者、青山学院
大学教授)



「いのちを知る」

河森 正治

(アニメーション監督、
メカニックデザイナー)



「いのちを育む」

河瀬 直美

(映画監督)



© LESLIE KEE

「いのちを守る」

小山 薫堂

(放送作家)



「いのちをつむぐ」

石黒 浩

(大阪大学名誉教授、
ATR石黒浩特別研究所客員所長)



「いのちを拓げる」

中島 さち子

(音楽家、数学研究者、
STEAM教育家)



「いのちを高める」

落合 陽一

(メディアアーティスト)



©蛭川実花

「いのちを磨く」

宮田 裕章

(慶応義塾大学教授)



「いのちを響き合わせる」

- 「People's Living Lab（未来社会の実験場）」（PLL）は2025年大阪・関西万博のコンセプトであり、本万博はこのコンセプトのもと、万博会場を多様なプレイヤーによるイノベーションを誘発し、それらを社会実装していくための巨大な装置としていく。
- PLLクリエイターはこのコンセプトの実現を目的として活動する役割を担う。



PLLクリエイター/PLL Designer 齋藤 精一氏

1975年神奈川県生まれ。建築デザインをコロンビア大学建築学科（MSAAD）で学び、2000年からニューヨークで活動を開始。03年の越後妻有アートトリエンナーレでアーティストに選出されたのを機に帰国。フリーランスとして活動後、06年株式会社ライゾマティクス（現：株式会社アブストラクトエンジン）を設立。16年から社内の3部門のひとつ「アーキテクチャー部門」を率い、2020年社内組織変更では「パノラマティクス」へと改める。
2018-2021年グッドデザイン賞審査委員副委員長。2020年ドバイ万博 日本館クリエイティブ・アドバイザー。2025年大阪・関西万博People's Living Labクリエイター。

シニアアドバイザー

- 協会における重要課題や専門的事項について、専門知識や技術、経験等を有する方から助言を受けるため、シニアアドバイザーを設置

(五十音順・敬称略)



安藤 忠雄
建築家

photo by 閑野欣次



池坊 専好
華道家元池坊
次期家元



大崎 洋
吉本興業ホール
ディングス株式会
社代表取締役会長



桂 文枝
落語家



河瀬 直美
映画監督

©LESLIE KEE



ロバート
キャンベル
早稲田大学特命教授



コシノ
ジュンコ
デザイナー



五神 真
東京大学大学院
理学系研究科
教授



ウスビ・サコ
京都精華大学学長



千 宗室
茶道裏千家家元



西尾 章治郎
大阪大学総長



宮田 亮平
金工作家



山極 壽一
総合地球環境学
研究所長



山崎 直子
宇宙飛行士

©NASA



吉田 憲司
国立民族学博物館長

- 企業・団体等はともにテーマの実現をめざすパートナー。大阪・関西万博では、これまでの万博よりも幅広い、多様な参加形態を用意。

パビリオン出展

万博のテーマに沿って自由な発想で
独自に企画・出展する参加

敷地面積約3,500㎡
9区画

テーマ事業協賛

8名のプロデューサーが企画する
テーマ事業に協賛社として参加

資金
施設・物品・役務提供

未来社会ショーケース 事業出展

会場内で未来社会の実証・実装や
テーマを具現化する展示を行う参加

事業出展
資金・施設・物品・役務提供

会場整備参加 運営参加

施設・物品
・役務提供

TEAM EXPO 2025 参加

共創チャレンジ
共創パートナー

催事参加

資金・施設・物品
・役務提供

営業参加

営業施設出店
ライセンスビジネス

万博応援参加

広報・プロモーション
指定寄附

多彩な催事を行うことで万博会場ににぎわい感を与え、華やかな雰囲気を出すとともに集客・来場者数の平準化・リピート来場に貢献する事業です。

【主催者催事】

主催者(博覧会協会)が協賛企業等と共に行う催事

劇場催事

音楽、演劇、芸能、
未来型エンターテインメント、
テーマフォーラム等

広場催事

ステージ催事、映像、
パレード、祭り等

未来社会ショーケース事業
「アート万博」等として実施

展示体験催事

メッセ展示会、ギャラリー
展示会、伝統文化
展示会等

環境演出催事

水面や会場施設を用い、
光と映像を駆使したショー
等

【参加催事】

企業、団体、自治体等の参加により行う催事

ギャラリー

展示面積:500㎡

アニメ、ファッション等の
展示会を会期中入替で実施
可能

屋外イベント広場

収容人数:1万人規模

屋根付ステージ

大型映像装置あり

大型ライブイベント、映像上映、
祭り等の屋外催事を実施可能

メッセ

展示面積:4,000㎡

様々な展示会を会期中入
替で実施可能

小規模なステージ

ステージ面積:50㎡

(屋根・小楽屋付)

数か所設置予定

音楽、トークイベント、祭り
等会期中入替で実施可能

大催事場

座席数:2,000席

劇場型ホール プロセニウム型ス
テージ

暗転可能 大型映像装置あり

音楽、演劇、芸能、未来型エンター
テイメント、テーマフォーラム等の
劇場催事を実施可能

小催事場

座席数:500席

半開放型小ホール 平土間

ナショナルデー・スペシャルデー式
典、音楽、演劇、芸能、未来型エン
ターテイメント、テーマフォーラム
等の劇場催事を実施可能

日本伝統文化エリア

芝生広場、屋外小舞台、1階展示場
茶道、華道、歌舞伎、能、句会等
日本の伝統文化の催事を会期中
入替で実施可能



※施設の規模や仕様は現時点の想定のため、今後変更する場合があります。

「TEAM EXPO 2025」プログラムの概要

TEAM
EXPO
2025

大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために**多様な参加者が主体**となって**理想としたい未来社会を共に創り上げていく**プログラムです。万博開催である2025年、SDGs達成目標である2030年、またその先の未来に向けて成長し続けていくことを目指します。

参加の意義

- ・共創チャレンジ／パートナーへの参画により、公式Webサイトや各種万博と連携したイベントを通じて自身の取組みの認知拡大や発展に繋げることができます。また、自らの活動における情報発信に、プログラムのロゴマーク※を使用することができます。
- ・本プログラムへの協賛により、世界の課題解決に向けた取り組みを支援することで、企業のPR及びブランド価値を向上させることができます。
※商用目的、資金調達目的の使用を除く

参加要件・各種条件 等

① 活動への参加について

2020年10月よりプログラム参加者募集開始（現在も適時受付中）※参加募集は世界中から幅広く行われていく予定です。

② プログラムへの企業協賛について

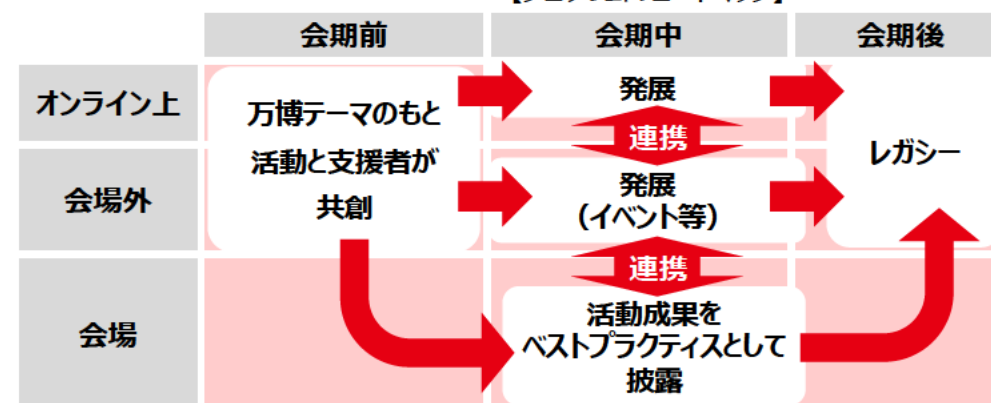
全体協賛：プログラムの運営等を支援いただくための協賛を募集します。

個別協賛：プログラムの活性化を支援いただくための施設・機材・物品・広報リソースなどの個別協賛を募集します。【プログラムのロードマップ】

共創チャレンジ：自らが描く未来の実現に向けた1つ1つのアクション



共創パートナー：複数の共創チャレンジの創出・支援をする法人・団体



今後のスケジュール

		2020年度		2021年度												2022年度		2023年度		2024年度		2025年度
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
各国への参加招請		各国への参加招請活動・途上国支援メニュー策定他									ドバイ万博											
パビリオン出展		企業向け基本計画説明会								募集	審査	基本計画策定 基本設計・実施設計			建設工事・展示物設置							
テーマ事業										基本計画策定						工事						
未来社会 ショーケース 事業	① スマートモビリティ万博									1次募集			事業スキーム決定	2次募集	参加企業調整 開発・実証実験 等		開幕準備					
	② デジタル万博									1次募集			事業スキーム決定	2次募集	開発・実証・工事		運営保守					
	③ バーチャル万博									募集	参加企業決定	基本計画 / 実施設計		制作 / 施工 / テスト		バーチャル万博開催						
	④ アート万博									1次募集		2次募集	参加企業決定 企画公募選定		制作 / 施工 / テスト							
	⑤ グリーン万博									プロジェクト実現に向けた検討						開幕準備						
⑥ フューチャーライフ万博								参加企業調整、開発・実証実験 等			1次募集			2次募集	参加企業調整 開発・実証実験 等		開幕準備					
会場警備・危機管理			リスク・危機管理方針						リスク・危機管理計画						危機管理体制 システムの検討 構築 教育研修 総合演習							
機運盛り上げ			「TEAM EXPO 2025」プログラム、 教育プログラム他																		入場券前売販売開始	
行催事	催事施設									設計						工事						
	催事コンテンツ									大型映像装置 / 音響装置 / 照明装置の募集												
営業参加										主催者催事 協賛募集						参加催事募集						
																				公募		

大阪・関西万博

※上記は現時点での想定スケジュールであり、今後検討を進める中で変動していく可能性があります。

- ◆ 「モノを見せる場」から「コトを感じる場」に、
「観る」万博から「参画し、共に創る」万博に



「いのち輝く未来社会」の実現に向け、
世の中を変える動きを創り出すような新しい万博に！